

別紙標準様式（第7条関係）

△ 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度 第2回枚方市病院事業運営審議委員会
開 催 日 時	令和元年9月26日（木） 15時00分から 15時50分まで
開 催 場 所	市立ひらかた病院 3階 第1会議室
出 席 者	委員：丹生委員長・田口副委員長・堤委員・妹尾委員・番匠委員・ 藤本委員・原委員 病院：高井病院事業管理者・林病院長・坂根副院長・木下副院長・ 赤塚副院長・白石副院長兼看護局長・岡市事務局長 他
欠 席 者	なし
案 件 名	1. 市立ひらかた病院業務状況について （平成30年度・令和元年度） 2. その他
提出された資料等の 名 称	・平成30年度の業務状況について ・令和元年度の業務状況について
決 定 事 項 等	・案件1～2について説明を受け、質疑応答にて確認を行う。
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者	1名
所管部署（事務局）	市立ひらかた病院 事務局 経営企画課

審 議 内 容	
○丹生委員長	<p>開会に際しまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、本日の委員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>暦の上ではすでに秋を迎えていますが、暑さは依然として厳しいものがございます。皆様におかれましては、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の委員会の案件は、「市立ひらかた病院の業務状況について」などを予定しております。</p> <p>委員の皆様には、委員会運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。開会のあいさつとさせていただきます。</p> <p>それでは会議に先立ちまして、委員の出席状況について事務局に説明を求めます。</p> <p>岡市事務局長。</p>
○岡市事務局長	<p>委員の出席状況についてご報告致します。</p> <p>本日の委員会の出席委員は7名でございます。</p>
○丹生委員長	<p>ただいま報告がありましたとおり、出席委員は定足数に達しておりますので、これより、令和元年度 第2回枚方市病院事業運営審議委員会を開会します。</p> <p>本会議の公開・非公開の取り扱いにつきましては、第1回委員会において、公開とさせていただくことになりましたが、本日、傍聴希望者はおられますか。</p> <p>小篠経営企画課長。</p>
○小篠経営企画課長	<p>本日、1名の方より傍聴の希望をいただいております。</p>
○丹生委員長	<p>それでは、傍聴希望者の入場を認めます。</p> <p>(傍聴者入場)</p> <p>それでは、まず、病院事業管理者よりあいさつをお受けしたいと思います。</p> <p>高井病院事業管理者。</p>
○高井病院事業管理者	<p>[高井病院事業管理者の挨拶]</p>
○丹生委員長	<p>それでは、これより議事に入ります。</p> <p>案件第1「市立ひらかた病院業務状況について」を議事とします。事務局に説明を求めます。</p> <p>小篠経営企画課長。</p>

○小篠経営企画課長

それでは、案件「(1)市立ひらかた病院の業務状況について」ご説明させていただきます。資料1ページよりご覧ください。

本院は、北河内二次医療圏における唯一の市立病院として、救急医療や小児二次救急、災害時医療などの公立病院としての役割を担う為、質の高い医療を提供することで地域への貢献に努めているところです。一方で、本院が非常に厳しい経営状況に置かれていることに鑑み、平成30年度については方針を掲げ、これまで以上に積極的に経営の改善化に向け、目標数値を設定して、取り組んでまいりました。

平成30年度の経営健全化の取り組みに関する方針及び重点項目についてです。

まず、「取り組みの2本柱」についてですが、病院経営の健全化には、入院収益の向上が不可欠であることから、「取り組みの2本柱」を位置付けまして、目標数値を掲げた上で、取り組みを進めてまいりました。

1点目の地域連携の強化についてですが、紹介率55%を掲げまして、平成30年度の実績としましては、56.3%と目標を達成しております。

2点目の救急患者の受入増進についてですが、救急搬送応需率85%、日中においては100%を掲げてまいりましたが、平成30年度の実績は、応需率88.7%、日中においては89.5%となり、日中においては目標を達成することができておりません。

その他の主な取り組みでございますが、まず1つ目に、消化器内科と消化器外科に関しまして、診断から治療までを一体的に行えるよう、消化器センターを設置し、平成31年1月から試行運用を開始しております。

2点目ですが、民間病院経営の専門的な知識を有しております外部コンサルタントを新たに導入し、所属ごとに収益向上に繋がる助言等をいただき、目標値を設定して取り組みを行ってまいりました。

3点目として、副院長の責任担当業務制導入等の院内の体制整備を行ってまいりました。

4点目として、院内の職員で構成する「緊急経営改善チーム」により、収益改善に繋がる諸活動を行ってまいりました。

5点目として、本院の魅力や診療内容について、ホームページの改善等によって、積極的な情報発信に努めてまいりました。

このような取り組みを行った結果ですが、平成30年度の業務状況(結果)をご覧ください。病床利用率については、平成30年度は、前年度に比べ5.3ポイント上昇し、78.0%となっております。

ます。

一日平均患者数は、入院患者については17.3人増加し、255.1人。外来患者については、14.2人減少し、809.3人となっております。

外来入院患者比率については、19.4ポイント減少し、212.1%となっております。

救急搬送応需率については、先程申し上げましたとおり、3.9ポイント上昇しております。

患者一人一日当たりの診療収入について、入院患者は2,630円増加し、56,504円となっております。外来患者は204円増加し、11,389円となっております。合計では1,781円増加し、25,844円となっております。

次に医業収益に対する医療材料費の割合ですが、2.1ポイント改善し、18.4%となっております。

医業収益に対する職員給与費の割合ですが、1.3ポイント改善し、57.3%となっております。

総収支比率ですが、9.8ポイント改善し、99.7%となっております。

経常収支比率ですが、9.2ポイント改善し、99.7%となっております。

医業収支比率ですが、1.7ポイント上昇し、88.2%となっております。

参考として決算状況の数値を、資料3ページに掲載しております。

まず病院事業収益に関する事項で、平成30年度の入院収益が前年度に比べ、約5億8,400万円増加となり、外来収益が約170万円の増加となっております。よって医業収益では、その他医業収益で減少があるものの、約3億8,000万円の増収となっております。

医業外収益では、長期前受金戻入について、会計処理の説明となりますが、企業債償還元金に対する一般会計からの繰入金について、出資金から負担金に受入れを変更したことにより、長期前受金戻入501,825,729円を計上し、約5億300万円の増収となっております。

これらの結果、平成30年度の病院事業収益は、9,697,486,594円となっております。

次に病院事業費用に関する事項ですが、給与費が約1億2,000万円の増加し、材料費が約9,500万円の増加し、経費が約5,300万円増加するなどした結果、医業費用は255,598,536円の増加となっております。

昨年度については、台風の関係で特別損失として4,389,824

円を計上しておりまして、平成 30 年度の病院事業費用は、9,727,666,996 円となっております。

これらの結果、30,180,402 円を今年度の損失として計上しております。これについては会計処理の変更もありますが、昨年度約 9 億 6,700 万円の損失を計上しておりましたので、約 9 億 3,700 万円が改善されている状況です。

続いて、令和元年度の業務状況について説明させていただきます。令和元年度 4 月から 8 月までの一般病床利用率については 80.1%となっており、平成 30 年度と比べて 2.5 ポイント上昇しております。

令和元年度 4 月から 8 月までの入院収益と診療単価について、令和元年度の入院収益は約 22 億 9,000 万円となり、平成 30 年度から約 1 億 400 万円増収となっております。入院診療単価について、令和元年度 4 月から 8 月までの平均で 56,982 円となり、昨年度に比べて 720 円増加しております。

令和元年度 4 月から 8 月までの外来収益と診療単価について、令和元年度の外来収益は、昨年度の 8 月までの累計で比べると約 7,700 万円増加しております。診療単価につきましても平均 602 円増加し、11,691 円となっております。

令和元年度 4 月から 8 月までの手術件数と収益について、令和元年度の手術件数は、昨年度に比べて 82 件増加し、1,465 件となっております。収益については、昨年度 8 月までの累計と比べますと、約 2,100 万円増加し、令和元年度は約 5 億 3,100 万となっております。

令和元年度 4 月から 8 月までの応需件数と入院率について、令和元年度の応需件数は、昨年度の 8 月までの累計で比べると 38 件増加し、1,990 件となっております。入院率は 0.6 ポイント上昇し、39.76%となっております。

次に、4 月から開設しました消化器センターについて昨年度と比較しますと、8 月までの手術患者数は 30 人増加し、伸び率 1.15 となっております。また、8 月までの内視鏡検査数は、378 件増加し、伸び率 1.17 となっております。8 月までの入院患者数については 237 人減少し、伸び率 0.97 となっております。これに対し、入院収益は 2,399,009 円の増加となり、伸び率はほぼ横ばいとなっております。外来収益は 9,535,163 円の減少となり、伸び率 0.95 となっております。

こうした数字からは、まだ数字が横ばいという状況でありまして、今後、地域への働きかけにより数字が伸びていくことに繋げてまいりたいと考えております。

簡単ではございますが、業務状況の説明とさせていただきます。

○丹生委員長	<p>これよりご質問・ご意見をお受けします。 ご質問・ご意見はありませんか。 番匠委員。</p>
○番匠委員	<p>前回の病院事業運営審議会委員会で、病床利用率を上昇させるために、地域の病院への訪問活動をしっかりやっていくとのことでありましたが、現在の状況と今後の課題についてお伺いします。次に、経営的に何とか黒字にしたいということはあるかと思いますが、最後は職員一人一人の考えであると思います。風通しの良い職場についてどのようなことを取り組んでいるかお伺いします。</p>
○服部医療相談・連携室副室長	<p>直近の実績で本年6月及び7月で119件の訪問を実施し、地域一体型の医療提供の説明と紹介患者の依頼を行いました。その結果、全て直結するとは限りませんが、前年度と比べて7月の初診の紹介患者数が133人の増加、8月は76人の増加となっております。今後も訪問の方に力を入れていきたいと考えております。</p>
○山本事務局次長	<p>風通しの良い職場について、活発なディスカッションは職場内で定期的に行われており、また、各種プロジェクトチームや委員会を活発に行うことで、職種を越えた横の連携、交流を常々行っているところです。また、積極的な情報発信について、自らの職場を外向きにアピールするというをやっております。また、患者さんへの接遇については、全職員を対象に定期的に接遇研修を行っておりますし、医師対象ですが医師の評価制度を導入しており、各職場でどのような対応をしているかなどを評価に反映する仕組みとしております。</p>
○番匠委員	<p>訪問活動について今後も引き続いてお願いします。また、良い職場風土の醸成についても、経営だけでなく、そこも大事ということで取り組みをお願いします。</p>
○丹生委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 原委員。</p>
○原委員	<p>紹介率55%を目標に、実績56.3%で目標を達成されたということですが、その中でも歯科の紹介率は結構高かった気がしております。令和に入って近隣の関西医大の歯科が拡充されてまして、その辺りの実数での影響についてお伺いします。</p>

○服部医療相談・連携 室副室長	口腔外科に紹介いただいた件数について、今年度4月は208件、5月は185件、6月は189件、7月は180件、8月は172件となっており、本年度は前年度と比べて、8月は減少しているのを除いては毎月約20件から40件程度増加しており、大幅な影響はないと考えております。
○丹生委員長	他にご質問・ご意見はありませんか。 堤委員。
○堤委員	今回の平成30年度決算の説明いただき、改善に向かっているとのことですが、平成33年度までの経営計画と比べるとまだまだ数字的に難しいと考えております。経営計画について見直しをされるのか、このまま経営計画を目指すのか、お伺いします。
○小篠経営企画課長	中期経営計画で目標値を掲げさせていただき、医療機能・医療品質に係る目標数値で、救急車来院患者数、手術件数は目標を達成しておりますが、紹介率、逆紹介率については、大阪府からの要件を満たすための基準が厳格化されたという状況の変化もあり、目標を大幅に下回っている状況です。また、経営の効率化に関する指標については、経常収支比率は目標を達成しておりますが、医業収支比率は目標を達成できておりません。こうした状況の中、計画の策定から2年経過しており、この間に実施した会計手法の変更、設備や医療機器の整備に係る費用の状況の変化も反映されておりません。今年度の診療報酬を踏まえて、計画をどうすべきか方向性を見定めたいと考えておまして、現在その検証を行っている状況です。
○堤委員	計画を検討されるということで、地域の病院であり、市民の立場に立った病院として、今後も引き続き経営をしっかりとやっていただきたいと思います。
○丹生委員長	他にご質問・ご意見はありませんか。 田口副委員長。
○田口副委員長	病床利用率について、平成29年度が72.7%から平成30年度が78.0%で5.3ポイント上昇していますが、元々の目標値が85%ということですが、見解をお伺いします。 次に、消費税率変更による影響についてお伺いします。
○山本事務局次長	病床利用率については、目標値85%を掲げております。先程説

	<p>明申し上げたとおり、一定の改善をしておりますが、あくまでも目標は85%ですので、これに向けた取り組みを進めてまいります。</p>
<p>○小篠経営企画課長</p>	<p>消費税率変更の影響についてですが、病院事業においては自費診療や差額ベッド代など課税できる料金徴収のものは限られており、健康保険の医療範囲は非課税となっております。一方、薬剤と診療材料については、課税で購入しており、購入時の消費税の多くが診療費に転嫁できないことから、消費税増税の影響は、病院が直接受ける状況です。ただし、これに対する措置として、健康保険の診療報酬が改定されることになっており、それぞれの差し引きした影響については、診療報酬の改定の単価が先日発表されたばかりのため、現在試算をしているところです。</p>
<p>○田口副委員長</p>	<p>努力されていると感じております。厳しい状況と思いますが、頑張ってくださいますようお願いいたします。</p>
<p>○丹生委員長</p>	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 妹尾委員。</p>
<p>○妹尾委員</p>	<p>一般会計からの繰入金について、出資金から負担金に変えることにより、大幅に収益が改善したように見えるのは、見せかけの問題であると私は思っています。本当にもう待たなしの状況になっております。平成30年度に3,000万円程の赤字ということをお聞きしましたが、次はそういう会計処理上のテクニックはありません。本当に改善をやらないと今後は正味マイナスが積み重なっていきますので、管理者を先頭にしっかり経営改善に取り組んでいくようにお願いします。マイナスになりますと、税金で負担ということになりますので、できるだけ負担のないようにお願いします。</p>
<p>○丹生委員長</p>	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 藤本委員。</p>
<p>○藤本委員</p>	<p>枚方市の同程度の病院と比べて、救急の応需件数、外来患者数はかなり多い。違うのは病床利用率で、90から100%を超える病院もある中で、そこに差があると思います。入院収益を増やすことが経営としては、プラスになることが大きいのだろうと思います。外来患者を入院に結びつけるような形にすることも、場合によっては必要ではないかと思います。先日、病棟を見る</p>

	<p>機会があったのですが、やはり病床の稼働率は悪いと思います。緊急の経営改善の目標の一つとして、病床稼働率を上げることが必要であると思います。一層の経営改善を行う上で、積極的に取り組むことをお願いします。</p>
○丹生委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 田口副委員長。</p>
○田口副委員長	<p>地域医療支援病院のこともありますので、逆紹介率はどのくらいをお伺いします。</p>
○服部医療相談・連携室副室長	<p>本年8月時点で945件、57.6%で、平均61.9%となっております。</p>
○田口副委員長	<p>後程、その資料をいただけたらと思います。</p>
○丹生委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 特にないようですので、本件についてはこの程度に留めます。 次に案件第2「その他」について、何かありますか。 番匠委員。</p>
○番匠委員	<p>枚方市駅からのバスの送迎が欲しいという市民から要望があることについて、どのように整理されているかお伺いします</p>
○高井病院事業管理者	<p>バスの送迎については、これまでもご要望や議会からも質問をいただいております。ご質問いただいた枚方市駅から本院の前までは、現在1日300本位のバスがあります。実際には樟葉、牧野、津田、香里方面等から来られる際に、乗り換えがネックになっているのではないかと考えております。バスが良いのかどうかはありますが、何らかの交通手段を確保することが、本院の課題であると認識しており、今後どういった方法が可能か、検討する考えでございます。</p>
○丹生委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 堤委員。</p>
○堤委員	<p>自転車及びバイクの駐輪場の入口がわかりにくく、入口を通り過ぎる方が結構多いと市民から聞いております。わかりやすい表示を検討いただきたいと思います。</p>
○丹生委員長	<p>ご質問・ご意見は特にないようですので、以上で、本日の案件</p>

<p>○林病院長</p>	<p>はすべて終了しました。 これで本日の議事を終了します。 閉会にあたり、病院長からご挨拶をお受けします。</p> <p>本日は、当審議会にご多忙の中、出席いただきまして誠にありがとうございました。平成 30 年度はようやく若干の改善の兆しが見られましたが、まだまだこれからというところですので、病院一同、知恵を絞ってこれからも経営改善に努めますので、是非とも今後ともご審議、ご教授の程宜しくお願ひしたいと思います。本日はどうも有難うございました。</p>
<p>○丹生委員長</p>	<p>以上で、本日の会議を閉会します。 お疲れ様でした。 (以上)</p>